

編修趣意書

教育基本法との対照表

※受理番号	学校	教科	種目	学年
105-95	中学校	国語科	書写	第1・2・3学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
38 光村	書写 038-72	中学書写 一・二・三年		

▶ 1. 編修の基本方針

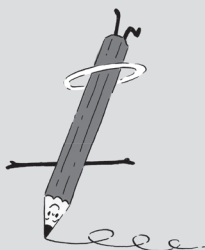
手書きのよさって、何だろう。

手で文字を書くことには、普遍的な価値があります。いっぽうで、簡単に入力できるデジタル機器もまた、生徒にとっては身近な「書く」手段です。手書きとデジタル機器、それぞれのよさを生かしつつ、次世代に文字文化をつないでほしい。そんな願いを込めて、私たちは、この教科書を編修しました。



特色

1



書く楽しさや達成感が感じられる

——「楽しい!」「おもしろい」が、学ぶ意欲を高めます。

...

文字を書く楽しさや喜びが体感できる教材、学ぶ達成感を感じて取り組める構成を目ざしました。書写を学習する目的を明確にし、「何を・どう学ぶか」「何ができるようになったか」「身につけた力をどう生かすか」が生徒自身にも分かる構成が、主体的な学習姿勢を育成します。

特色

2

基礎・基本が、無理なく身につく

——「文字を整えて書きたい」という、生徒の願いに応えます。

...

すべての書写要素を効率的に学習できるよう、学習内容を焦点化し、発達段階に応じて段階的に配列しました。綴じ込みの「書写ブック(硬筆練習帳)」には、毛筆の学習を生かして、硬筆で書く活動を豊富に位置づけました。習得と活用を効果的に繰り返すことによって、確かな書写の力を育成します。

特色

3



学んだことが、日常に生きる

——「書写学習は何に生かせるのだろう?」という疑問に答えます。

...

身につけた書写の力を日常に生かすヒントを多数掲載しています。書写で培った力が、国語科をはじめとする各教科の学習場面や学校・社会生活でも生きて働くよう教材化を工夫し、書写で学習したことを実感できる構成としました。

特色

1

書く楽しさや達成感が感じられる

——「楽しい!」「おもしろい!」が、学ぶ意欲を高めます。



学習ページ

主体的に取り組める言語活動を提示しました。

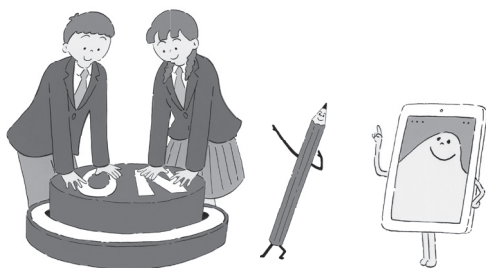
・教材の冒頭には、文字の特徴や書き方のポイントを、生徒が考えたり話し合ったりする活動を位置づけました。観察や相互比較を通して主体的に考えることで、文字の書き方への理解を深め、思考力・判断力・表現力を養います。

言語活動

・楷書と行書を比較して、筆使いについて話し合う活動。教材冒頭には、文字の書き方の原理・原則を発見する活動を位置付けました。

キャラクター

・生徒とともに成長し、課題解決や着想のヒントを与えます。



p.54「点画の変化」

行書スイッチ

・中学校で初めて学習する「行書」には、生徒が主体的に考えるきっかけとして、「行書スイッチ」を提示しました。「行書スイッチ」を手がかりに行書の特徴を捉えることで、主体的に考え、文字の書き方への理解を深めます。

特色

2

基礎・基本が無理なく身につく

——「文字を整えて書きたい」という、生徒の願いに応えます。



「中学書写スタートブック」、「書写ブック」

学びを確かめ、深める教材を用意しました。

中学書写スタートブック

・巻頭には、書写の基礎・基本を網羅した「中学書写スタートブック」を新設しました。書写学習の意義や姿勢の大切さなど、書写の本質的な問いに応えます。

書写ブック

・綴じ込みの「書写ブック（硬筆練習帳）」では、文字の書き方を確認しながら、硬筆で繰り返し練習し、書く力を定着させることができます。



p.30「中学書写スタートブック」



p.1-28
「書写ブック」

教材配列、「学びのカギ」

何を・どう学ぶかを、分かりやすく示しました。

- ・中学校で初めて学習する行書の主要教材は4ページ構成とし、基礎・基本をしっかりと習得できるようにしました。
- ・学習の内容と活動の流れを分かりやすく示し、全教材に、学習のポイントがひと目で分かる「学びのカギ」を設定しました。

学びのカギ

点画の変化
行書では、速く整えて書くために、点画の形が変化することがある。

① 点画の変化
② 考えよう
③ 生かそう

「学びのカギ」

p.54-55「点画の変化」

学習の見通しをもつ（目標）

学習・活動に取り組む

① 考えよう
（文字の書き方の原理・原則を発見し、理解する）

② 確かめよう
（毛筆で書き、原理・原則を確認する）

③ 生かそう
（習得した知識・技能を他の文字に応用する）

次の学習に生かす
（振り返ろう／「書写ブック」を活用する）

p.56-57「点画の変化」

特色

3

学んだことが、日常に生きる

——「書写学習は何に生かせるのだろうか？」という疑問に答えます。

- ・国語と連動できる教材を各学年に設定しました。学習に必然性が生まれ、単元全体の配当時数にも余裕が生まれます。
- ・生徒が書写学習に親しみをもち、文字を書く意欲を喚起できるよう、学校生活や日常生活に生かすヒントを豊富に紹介し、教材の題材は、生徒の日常から幅広く取り上げました。

国語

学校生活

限界突破
昨日の自分を
超えていけ

行書を活用しよう

天下統一
武松 松井組

二年四組
群青

p.80-81「行書を活用しよう」

総合

防災フェスタを開こう

p.98-99
「防災フェスタを開こう」

国語

情報収集の達人になろう

p.64
「情報収集の達人になろう」

2. 対照表

図書の構成・内容		特に意を用いた点や特色	該当箇所
ブック 書写		・小学校から中学校で学習する書写の学習要素をまとめることで、幅広い知識と教養を身につけるとともに、日常への定着を図れるよう工夫しました。【第一号】	1-28
ブック 中学書写	姿勢・筆記具の持ち方 用具の準備・片付け 学習の進め方／タブレットを活用しよう 字形の整え方	・巻頭に「中学書写スタートブック」を設け、書写学習の目的や、何を、どのように学ぶかを示すことで、主体的に学習に取り組む態度を養えるよう配慮しました。【第二号】 ・身体に負担のかからない姿勢・筆記具の持ち方が身につくよう教材化を工夫し、健やかな身体を養えるよう配慮しました。さらに、学習のはじめに書写体操を、学習の終わりに整理体操(おもに、タブレットを使った後に行うことを想定)を導入しました。【第一号】 ・左利き生徒の学びやすさに配慮し、左手で書くときの写真を掲載しました。また、左利き生徒用の教科書紙面及び動画を、教科書連動コンテンツとして用意しました。【第三号】 ・全編を通して男女の平等に配慮し、写真やイラスト等に学習上の偏りがないように留意しました。【第三号】	30-36
書く読みやすくなる 読む書きやすくなる 遠く書くための行書	1年生	漢字を分解してみよう	38-39
		漢字の筆使い	40-43
		楷書に調和する仮名(いろは歌)	44-45
		文字の大きさと配列(俳句)	46-47
		【コラム】文字の歴史を探る	48-49
		行書の特徴／行書スイッチを入れよう	50-53
		点画の変化	54-57
		点画の連続	58-61
		【国語】季節のしおり①	62-63
		【国語】情報収集の達人になろう	64
	2年生	点画の省略	66-69
		筆順の変化	70-73
		行書に調和する仮名(いろは歌)	74-75
		行書と仮名の調和	76-77
		楷書と行書の使い分け	78-79
		【国語】【学校生活】行書を活用しよう	80-81
		【コラム】全国フォント見つけ隊	82-83
		【国語】季節のしおり②	84-85
		【国語】職業ガイドを作ろう	86
		【考えよう】手書きのよさって、何だろう	88-89
文字を使い分ける	3年生	全国文字マップ	90-93
		文字の使い分け	94-95
		【コラム】ユニバーサルデザインフォントって何だろう	96-97
		【総合】防災フェスタを開こう	98-99
		三年間のまとめ	100-103
		【コラム】自分らしい文字	104-105
		【国語】季節のしおり③	106-107
		【国語】冊子にまとめよう	108
		書く道具が生まれる	140
		【発展】なりきり、書聖・王羲之	165
日常に役立つ 書式	中学生の 漢字字典	手紙の書き方(縦書き・横書き) はがきの書き方／送り状の書き方 都道府県行書一覧／入学願書の書き方 原稿用紙の書き方／レポートの書き方	110-115
		【国語】【学校生活】通信文を見てみよう	116-117
		【学校生活】手書きで伝えよう	118
書き初め マスタートラップ	中学生の 漢字字典	常用漢字表(2136字) 人名用漢字表(863字) 片仮名・数字・アルファベット 部分別行書一覧	120-139
		・書き初めの由来や、地域に根づいた文化を紹介することで、伝統と文化を尊重し、我が国と郷土を愛し、文化の継承を意識できるよう配慮しました。【第五号】 ・SDGsの達成に向けて、リサイクル用紙を活用した取り組みを紹介することで、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養えるよう配慮しました。【第四号】	141-148
書き初め マスタートラップ	中学生の 漢字字典	1年生「不言実行」「文武両道」「強い決意」 2年生「将来の夢」「温故知新」 3年生「旅立ちの春」「伝統を守る」 硬筆・毛筆補充教材	149-164

▶ 3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色



『大木』の筆使い(動画)

学習上の参考に供するための資料

- ・教科書紙面に、「二次元コード（QRコード）」がある教材では、タブレットを使って、筆使いを確かめる動画やアニメーション等のさまざまな資料を閲覧することができます。
- ・さらに、家庭との連携の観点から、インターネットとの関わり方やSDGs、防災に関わることなど、他教科や日常生活に関連するコンテンツを併せて用意しました。



「文字の歴史を探る」(アニメーション)



「SDGsについて考え、行動しよう」(動画)



特別支援教育への配慮

ユニバーサルデザイン・カラーユニバーサルデザインの観点から、全ての生徒にとって使いやすい教科書を目指しました。教科書の全ページについて、専門家の校閲を受けています。

学習支援上の配慮

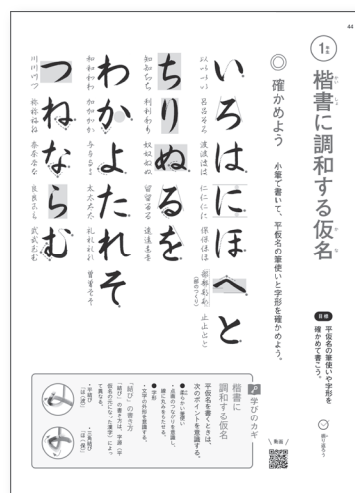
- ・特別支援教育の専門家による全ページの校閲を受け、情報を精選し、大切なことがひと目で分かる、すっきりとしたレイアウトを実現しました。特別に支援が必要な生徒にとっても、混乱が生じにくく学びやすい紙面です。

色覚特性への配慮

- ・カラーユニバーサルデザインの専門家による厳しい校閲を受け、文字や図表などに複数の色を用いるときは、だれもが明確に識別できる色の組み合わせになるよう配慮しました。

書体に関する配慮

- ・読みやすさを考慮して独自に開発した、オリジナルの教科書体を使用しています。
- ・単元名や目次には、読みやすさと見やすさを追求したユニバーサルデザイン書体を用いました。



p.44「楷書に調和する仮名」



教科書体



UD書体
(ユニバーサルデザイン)



手書き文字

編修趣意書

学習指導要領との対照表、配当授業時数表

※受理番号	学校	教科	種目	学年
105-95	中学校	国語科	書写	第1・2・3学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
38 光村	書写 038-72	中学書写 一・二・三年		

▶ 1. 編修上特に意を用いた点や特色

特色 1 「書き初めマスターブック」を新設

—— 書き初めの由来や書くときのポイントを掲載。主体的な学習を促します。

伝統的な文字文化である書き初めを、楽しく分かりやすく教材化しました。

・巻末の「書き初めマスターブック」には、書き初めの由来や全国の書き初め文化などを豊富な写真で紹介しました。
また、書き初めのポイントを3ステップで詳しく解説。自ら考え、主体的に取り組む書き初め学習を提案します。

✓ 全国書き初め調べ隊



p.148



p.146-147

✓ 書き初めの手順



p.142-145

✓ 書き初め補充教材



p.161-164

特色

2

手書きの価値に触れる、新たな教材。

— 今、改めて手書きの価値について考えます。



手書きのよさって、何だろう

手書きの価値について考える教材を、新設しました。

・デジタル機器を利用した生活が子どもたちにとって当たり前になる中で、デジタルと手書き、それぞれのよさや特徴について考える教材を新たに設けました。手書きの価値や現代における文字文化について、理解を深めることができます。



表紙裏 巻頭詩



p.88-89「手書きのよさって、何だろう」

特色

3

「書写ブック(硬筆練習帳)」で、書く力の定着を図る。

— 毛筆での学習が硬筆に生きるよう、教材化を図りました。



「書写ブック(硬筆練習帳)」

文字の書き方を確認しながら、硬筆で繰り返し練習することができます。

・綴じ込みの「書写ブック(硬筆練習帳)」には、毛筆の教材文字と同じ学習要素をもつ硬筆課題を、豊富に設定しました。必要に応じて既習事項を確認しながら、書写の基礎・基本を確実に身につけられる構成となっています。



p.54-55「点画の変化」

教科書の関連ページで、文字の整え方を確認する。

p.10-11「点画の変化」

学習をサポートする、豊富なコンテンツ。

—— 用具の準備・片付けから書写体操、姿勢・筆記具の持ち方、運筆動画まで。



豊富な二次元コードコンテンツ

用具の準備・片付け、書写体操などの動画をご用意。

- 教科書紙面に「二次元コード」がある教材では、スマートフォンやタブレットを使って、動画コンテンツを閲覧することができます。全教科の基礎である姿勢・筆記具の持ち方が定着するよう、スポーツ科学の専門家の監修による「書写体操」を収録しました。



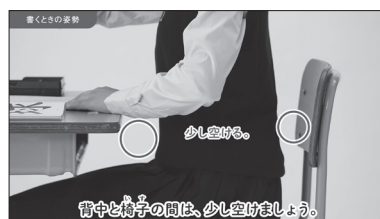
p.30「姿勢・筆記具の持ち方」



動画



動画



動画「書くときの姿勢」



動画「書写体操」

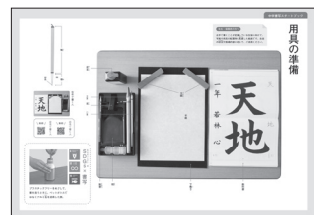
運筆動画やアニメーション、補充教材などのコンテンツが、学びを広げます。



アニメーション



筆使い動画



補充教材



写真



p.31「タブレットを使う姿勢」

教科書でもタブレットを使う姿勢を取り上げ、コンテンツの活用をサポートします。

特別支援教育・ユニバーサルデザインへの対応。

—— 全ての生徒にとって使いやすく、分かりやすい教科書のために。

- 特別支援教育の専門家による全ページの校閲を受け、情報を精選し、大切なことがひと目で分かる、すっきりとしたレイアウトを実現しました。特別に支援が必要な生徒にとっても、混乱が生じにくく学びやすい紙面です。
- カラーユニバーサルデザインの専門家による厳しい校閲を受け、文字や図表などに複数の色を用いるときは、だれもが明確に識別できる色の組み合わせになるよう配慮しました。
- 読みやすさを考慮して独自に開発した、オリジナルの教科書体を使用しています。また、単元名や目次には、読みやすさと見やすさを追求したユニバーサルデザイン書体を用いました。

編集上の留意点	
1 教育基本法・学習指導要領への対応	◆ 書写の学習を通して幅広い知識・教養を身につけるとともに、書写で培った「正しく整えて文字を書く力」を他教科や日常の言語生活で生かす態度を育成できるよう配慮しました。 ◆ 知識・技能を習得し、課題解決を行う過程で、「思考力・判断力・表現力」や「学びに向かう力」など、「生きる力」を支える能力を養えるよう配慮しました。 ◆ 学習指導要領に示された「我が国の言語文化に関する事項」の「書写」の指導事項を全て網羅できるように、単元・教材を作成しました。また、各単元・教材での学習内容を焦点化し、段階的に配列しました。
2 基礎・基本的な知識・技能の習得と活用	◆ 知識・技能の習得と活用を繰り返しながら、確実に基礎・基本を定着できるよう、1年から3年までの内容を一冊にまとめました。 ◆ 全教材に、学習のポイントがひと目でわかる「学びのカギ」を設け、他の文字を書くときにも普遍的に活用できる基礎・基本、原理・原則を明確に示しました。 ◆ 別冊の硬筆練習帳「書写ブック」(p.1-28)を設け、毛筆教材文字と同じ学習要素をもつ硬筆課題を豊富に設定しました。硬毛の密接な関連を図り、毛筆での学習が硬筆に生きる構成です。
3 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫	◆ 巻頭に中学校3年間の目標を掲げるとともに、全教材に「目標」及び「振り返ろう」を明示し、知識・技能の定着や自己の変容を確かめられる構成としました。 ◆ 巻頭に「中学書写スタートブック」(p.30-36)を新設し、書写の基礎・基本を分かりやすく示しました。 ◆ 生徒が見通しをもって、主体的に学習に取り組むことができるよう、各教材は、①考えよう(原理・原則の発見)→②確かめよう(書いて原理・原則を確かめる)→③生かそう(日常の文字に生かす・振り返り)という展開が、ひと目で分かる構成にしました。巻頭(p.34-35)では、学習の進め方を写真で分かりやすく示しました。
4 文字文化への理解を深めるための工夫	◆ 巻頭詩や「手書きのよさって、何だろう」(p.88-89)を設け、手書きのよさについて話し合う活動を位置づけました。 ◆ 巻末に「書き初めマスターブック」(p.141-148)を新設し、書き初めの由来や、地域の書き初め文化を紹介することで、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献するための素地を培えるよう配慮しました。 ◆ 身の回りにある文字を取り上げた「全国文字マップ」(p.90-93)、見やすさや読みやすさにこだわったユニバーサルデザイン書体や、地域ゆかりの活字の書体を扱ったコラム(p.96-97/82-83)、書の用具の製造工程を紹介した「書く道具が生まれる」(p.140)など、文字や文字文化への理解・関心を高める教材を随所に位置づけました。
5 教材の選定	◆ 毛筆・硬筆とも、生徒の発達段階に即した字体で示しました。また、生徒の混乱を招かないよう、楷書・行書ともに書きぶりを一貫させ、部分の形も統一しました。 ◆ 教材には、「国語科書写」として、生徒の感性を高められる優れた言葉や文章を選びました。 ◆ 毛筆教材では、朱墨や写真、擬音語・擬態語を用いて、筆脈や穂先の動きを把握しやすいように工夫しました。 ◆ 「自分らしい文字」(p.104-105)では、さまざまな分野の著名人の手書き文字を取り上げ、生徒が自らも夢を描き、それに向かって行動しようとする意欲を高められるよう工夫しました。
6 他教科・日常生活との関連	◆ 各学年に国語との関連教材を設け、言語活動を通して、日常生活に生きて働く書写の知識・技能を習得できるよう工夫しました。また、古典文学や短歌・俳句を書いて味わう教材を豊富に設定しました。 ◆ 「行書を活用しよう」(p.80-81)や「防災フェスタを開こう」(p.98-99)では、豊富な作例を掲載し、書写で習得した知識・技能を、国語や他教科、日常生活に役立てる方法をイメージできるよう工夫しました。
7 小学校・高等学校との接続	◆ 巻頭の「中学書写スタートブック」(p.30-36)に小学校での学習内容をまとめ、小学校からの円滑な接続を図るとともに、基礎・基本を活用の中で定着できるよう配慮しました。 ◆ 高等学校芸術科書道への関連を意識し、「文字の歴史を探索」(p.48-49)、「なりきり、書聖・王羲之」(p.165)を設け、生徒の興味・関心に応じて書写学習を進化・発展させられるよう配慮しました。
8 情報活用・ICT活用	◆ 教科書紙面に「二次元コード(QRコード)」がある教材には、運筆動画や、用具の準備・片付けの解説動画、アニメーションなど、スマートフォンやタブレット端末を使って閲覧できる豊富な資料を用意しました。 ◆ タブレットを使う際の姿勢写真を掲載し、正しい姿勢・持ち方が定着するよう配慮しました。また、タブレットを使った後に行う「整理体操」を新設し、生徒の健康面にも配慮しました。
9 製本・印刷・活字など	◆ 環境への配慮から、再生紙・植物油インキを用いています。 ◆ 強度が高く、鉛筆で書きやすい用紙を開発し、採用しました。 ◆ 「中学書写スタートブック」(p.30-36)、「書き初めマスターブック」(p.141-148)には、森林を保つために切った間伐材を利用して作られたオリジナル用紙を使用しました。 ◆ 針金を3か所に施した中綴じ製本で、長期の使用に耐えられるよう配慮しました。
10 特別支援教育への配慮	◆ ユニバーサルデザインに対応した教科書作りという観点から、特に以下の点に配慮しています。 ・すべての生徒が学習に集中できるよう、大切なことがひと目でわかる、すっきりとした紙面構成を実現しました。 ・複数の色を組み合わせるときには、色覚の多様性に配慮し、誰もが識別できる配色を採用しました。
11 今日的な課題への配慮	◆ 教科書に登場する生徒の写真・イラストについては、感染症の流行に応じた配慮を促すなど、「新しい生活様式」を考慮した内容を設けました。 ◆ 文字の読みやすさ、色覚の多様性、ジェンダーの平等、環境保全などの観点から、教科書全体を通してSDGsの達成に向けて教材化に取り組みました。また、随所にミニコーナー「SDGs×書写」(p.33他)を設けました。

2. 対照表

図書の構成・内容			学習指導要領の内容			該当頁	配当 時数	
			【知識及び技能】		その他の指導事項			
			(3) の事項	(1) の事項				
書写ブック	1年生	漢字の筆使い	エ (ア)	イ		3	2	
		筆順／外形と中心	エ (ア)	イ		4-5		
		点画の組み立て方／部分の組み立て方	エ (ア)	イ		6-7		
		言葉を書こう1	ア、エ (ア)	イ		8-9		
		点画の変化	エ (イ)	イ		10-11		
	2年生	点画の連続	エ (イ)	イ		12-13	2	
		点画の省略	ウ (ア)	ウ		14-15		
		筆順の変化	ア、ウ (ア)	ウ		16-17		
	3年生	言葉を書こう2	ア、ウ (ア)	ウ		18-19	4	
		書写テストに挑戦しよう	エ (ア)	ア		20-21		
2 3年生	言葉を書こう3	ア、エ (ア)	ア		22-23	1		
	都道府県名を練習しよう	2年ウ (ア) 3年エ (ア)	2年ウ 3年ア		24-25			
	年賀状を書こう				26-27			
ブック スタート	中学書写	姿勢・筆記具の持ち方 用具の準備・片付け 学習の進め方／タブレットを活用しよう 字形の整え方				30-36	適宜	
書くための楷書	1年生	漢字を分解してみよう	エ (ア)	イ		38-39	2	
		漢字の筆使い	エ (ア)	イ		40-43		
		楷書に調和する仮名 (いろは歌)	ア、エ (ア)			44-45		
		文字の大きさと配列 (俳句)	ア、エ (ア)	イ		46-47		
		【コラム】文字の歴史を探る	エ (ア)・ (イ)			48-49		
	速く書くための行書	1年生	行書の特徴／行書スイッチを入れよう	エ (ア)・ (イ)	イ	A (1) オ (2) イ	50-53	2
			点画の変化	エ (イ)	イ		54-57	3
			点画の連続	エ (イ)	イ		58-61	3
			【国語】季節のしおり①	ア、エ (ア)・ (イ)	イ		62-63	1
			【国語】情報収集の達人になろう	エ (ア)	イ	B (1) ア・イ	64	適宜
2年生		点画の省略	ウ (ア)	ウ		66-69	3	
		筆順の変化	ウ (ア)	ウ		70-73	3	
		行書に調和する仮名 (いろは歌)	ア、ウ (ア)			74-75	3	
		行書と仮名の調和	ウ (ア)	ウ	A (1) オ (2) イ	76-77	3	
		楷書と行書の使い分け	ウ (イ)	ウ	A (1) オ (2) イ	78-79	2	
文字を使い分ける	2年生	【国語】「学校生活」行書を活用しよう	ウ (ア)・ (イ)	ウ	B (1) 全	80-81	適宜	
		【コラム】全国フォント見つけ隊	ウ (イ)		A (1) オ (2) イ	82-83	1	
		【国語】季節のしおり②	ア、ウ (ア)	ウ		84-85	1	
		【国語】職業ガイドを作ろう	ウ (イ)	ウ	B (1) 全	86	適宜	
		【考えよう】手書きのよさって、何だろう	エ (ア)		A (1) オ (2) イ	88-89	1	
	3年生	全国文字マップ	エ (ア)			90-93	2	
		文字の使い分け	エ (ア)	ア	A (1) オ (2) イ	94-95	1	
		【コラム】ユニバーサルデザインフォントって何だろう	エ (ア)			96-97	1	
		【総合】防災フェスタを開こう	エ (ア)	ア	B (1) 全	98-99	適宜	
		三年間のまとめ	エ (ア)	ア		100-103	2	
未来へ向かって	3年生	【コラム】自分らしい文字	エ (ア)	ア	A (1) オ	104-105	1	
		【国語】季節のしおり③	ア、エ (ア)	ア		106-107	1	
		【国語】冊子にまとめよう	エ (ア)	ア	B (1) 全 (2) イ	108	適宜	
		書く道具が生まれる				140		
		【発展】なりきり、書聖・王羲之	エ (ア)			165		
日常に役立つ 書式		手紙の書き方 (縦書き・横書き) はがきの書き方／送り状の書き方 都道府県行書一覧／入学願書の書き方 原稿用紙の書き方／レポートの書き方	1年エ (ア) (イ) 2年ウ (ア) (イ) 3年エ (ア)	1年イ 2年ウ 3年ア	1年B (1) 全 (2) イ 2年B (1) 全 (2) イ 3年B (1) 全 (2) イ	110-115	適宜	
		【国語】「学校生活」通信文を見てみよう				116-117		
		【学校生活】手書きで伝えよう				118		
漢字字 典	中学生の ための	常用漢字表 (2136字) 人名用漢字表 (863字) 片仮名・数字・アルファベット 部分別行書一覧	1年エ (ア) (イ) 2年ウ (ア) (イ) 3年エ (ア)	1年イ 2年ウ 3年ア		120-139	適宜	
マスタートラック 書き初め		全国書き初め調べ隊 書く準備をしよう／教科書を分析しよう 配列をマスターしよう 好きな言葉を書こう	1年エ (ア) (イ) 2年ウ (ア) (イ) 3年エ (ア)	1年イ 2年ウ 3年ア		141-148	適宜	
		1年生「不言実行」「文武両道」「強い決意」 2年生「将来の夢」「温故知新」 3年生「旅立ちの春」「伝統を守る」 硬筆・毛筆補充教材	1年エ (ア) (イ) 2年ア、ウ (ア) (イ) 3年ア、エ (ア)	1年イ 2年ウ 3年ア		149-164	適宜	

編修趣意書

発展的な学習内容の記述

※受理番号	学校	教科	種目	学年
105-95	中学校	国語科	書写	第1・2・3学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
38 光村	書写 038-72	中学書写 一・二・三年		

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容や内容の取扱いに示す事項	ページ数
165	発展 なりきり、書聖・王羲之	1	高等学校芸術科学習指導要領 [書道I] 2 内容 A 表現 (2) ウ(ア) 古典に基づく基本的な用筆・運筆 B 鑑賞 (1) ア(ア) 作品の価値とその根拠 イ(ア) 線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり (イ) 日本及び中国等の文字と書の伝統と文化 と関連する。	1
合計				1

(「類型」欄の分類について)

- 1 … 学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容
- 2 … 学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容